

# アベノミクス、TPPと参院選

政治ジャーナリスト 後藤謙次

- \*「カレンダーづくり」に綿密な準備
- \*政権運営に「政高党低」を徹底
- \*要注目の「小さい関係閣僚会議」
- \*内閣官房参与に重要な役割
- \*価値観外交による中国包囲網
- \*自らたてるメディア戦略
- \*札束があふれ返る民主党の金庫
- \*7月の参院選でねじれ解消へ
- \*橋下共同代表のビークは衆院選
- \*「異次元」が安倍総理のオハコに



浅野 それでは開会いたします。（拍手）

後藤さんに前回お願いしたのは去年の2月でして、そのときの政治状況はあまり面白くなかったのですが、政治の風景は様変わりです。安倍政権になって昨日が100日ということ、タイミングはほぼベストですね。ハネムーン期間と言われている100日過ぎてても好調な状況が続くだろうと思います。

一の矢の金融政策に対しては、100点と言う人もいますし、エコノミストの中には0点をつける人もいますのですけれども、非常にうまくいっている感じですね。今日も日経平均株価は一時500円ほど上がっていますから、そういう意味でも安倍政権の話をしていただくにはタイミングがいいと思います。

後藤さんは共同通信社で編集局長をされてから、今フリーのジャーナリストで大活躍されています。朝5時前に家を出て朝のテレビに出たりしていますから、早起きの方はご覧になっておられるでしょう。それから日曜日も出演されていますから、お顔はよくご存じだと思います。とにかく今日は楽しみな話がいっぱいありますので、早速始めたいと思います。それでは後藤さん、よろしくお願いします。（拍手）

後藤 皆さんこんにちは。お忙しい中ありがとうございます。出る前に家で調べてきましたら、去年2月にこちらにお邪魔をしていて、まだ野田政権がふらふらやっている頃でして、今はだいぶ変わりました。浅野さんからありましたように、つい先ほどの共同通信社からの速報